

地域科学探究科 1 年 東大訪問・東京研修

7 月 27 日（月）～28 日（火）地域科学探究科 1 年生 39 名は東大訪問・東京研修に参加しました。この研修は今年で 3 年目を迎え、柏陵同窓会東京支部様と本校 OB で現在東京大学理学系研究科教授の方のご協力のもとで実施しています。一行はまず東大正門にて教授と研究室所属の学生と出会い構内を見学してもらいました。緑が多く広大で歴史を感じる建物の間を通り、テレビでよく見る安田講堂の前で写真をとりました。化学本館に移動してから教授の方と 3 人の学生にユーモアを交えて楽しく研究紹介をしてもらいました。その後で 4 グループに分かれて実験実習をさせてもらいました。レーザー質量分析器によるお米の産地の推定、最新のデジタル顕微鏡を用いた「これは何の拡大でしょう？」クイズ、レーザー加工によるネームプレートの作成、人工的に作り出した香りの科学の 4 種類です。生徒は熱心に話を聞いて楽しそうに実習に取り組んでいました。

宿泊先の代々木オリンピック記念センターへ移動し、夜の研修を行いました。現役の東京大学の 2 名の学生（文科一類、農学研究科）と東京大学特命教授の方（本校 OB）、東大から外交官の経験を経て現在は中央大特任教授の方（本校 OB）にお越しいただきました。現役の東大生からは自身の大学生活や高校生のときどのように過ごしたかのアドバイス、2 名の教授からは自身のキャリアを踏まえて現在取り組んでいることの説明をしていただきました。その後で座談会にうつり、4 名の方々と囲んで積極的に意見交換を行いました。みなさん終始にこやかに優しく生徒に接していただいて楽しく座談会が進行できました。

2 日目の研修は読売新聞本社を訪れ、新聞のできるまでの過程と記者としてどのように仕事に向き合っておられるかなどのお話を聞き、実際の編集デスクを間近で見学してもらいました。記者の方は真偽が怪しい情報は記事にはせず、真実だと確証がとられるまで徹底的に調査する姿勢をとっておられ、自身の記者の仕事に対する誇りのようなものを感じることができました。東京研修を経て、自身の夢について再度見つめ直し、地域で学び、日本全国さらには世界へと目を向け将来的にもっと広い外の世界へ羽ばたいていく気持ちが生まれることを期待しています。



